

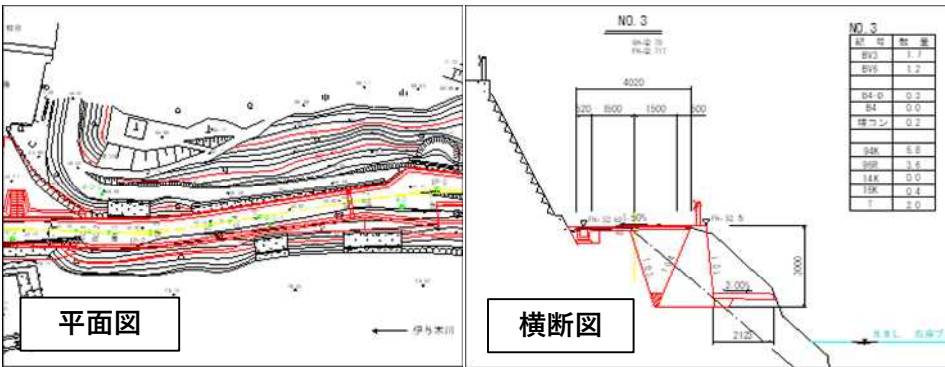
令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社西南建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：3次元設計データ作成ソフト、自動追尾型TS

<工事概要>

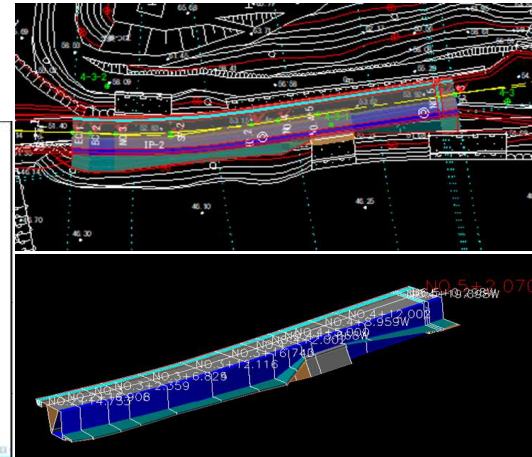
工 事 名：4防安第480-202-1号 町道西の路線 道路改良工事
 請負代金：13,420,000円、工期：令和5年9月1日～令和6年2月29日
 工事内容：施工延長 L=47.3m
 重力式擁壁L=47.8m、ガードレールL=47.8m、
 コンクリート平板工A=63.0m²、U型側溝L=43.1m



<参 加 者>

15名（建設会社：3社3名、県職員：5名、市町村職員：7名）

3次元設計データ作成



自動追尾型TS



プロセス	使用機械等	従来	I C T	効果	評価	施工者のコメント
3次元起工測量	従来通り	-	-	-	-	
3次元設計データ	SiTECH3D (今回導入)	2人・日	2人・日	0%	本工事で初めての使用であったためデータ作成には時間を要しましたが、操作の慣れ・入力データの手順等は繰り返しの作業でより効率化を図れる。また3Dデータ化することにより構造物等の仕上がりをイメージしやすくなった。	
I C T 施工	従来通り	-	-	-	-	
3次元出来形管理	杭ナビ・快測ナビ (今回導入)	3人・日	1人・日	-67%	各工程での測量・位置出し等は一人で行えるため、測量に要する人員・時間は大幅に削減できた。現場での作業を中断することなく測量を行えたため、円滑で効率的に作業を進めることができた。	
合計		5人・日	3人・日	-40%		

発注者のコメント

3次元設計データを作成することにより、3次元出来形管理の省力化ができています。また、普段使いとして丁張の設置や位置出しにも活用している。初めての3次元設計データの作成であり大変であったが、導入で得られる効果について実感されている。I C T 施工等による効率化は人員不足や若手育成の課題解決につながるため引き続き取り組んでみたい。